

川崎幸区役所



建物外観 (撮影：セラミックワン(旧ミヤガワ))



執務室内観 (撮影：セラミックワン(旧ミヤガワ))



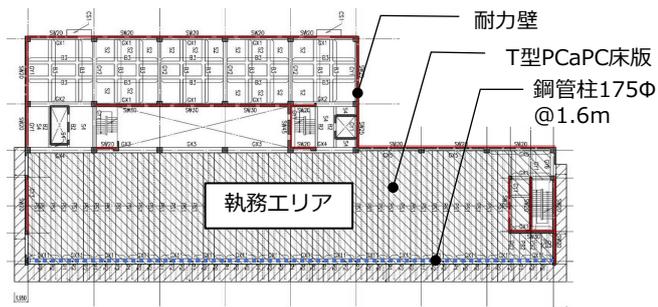
1階窓口・待合スペース内観 (撮影：セラミックワン(旧ミヤガワ))



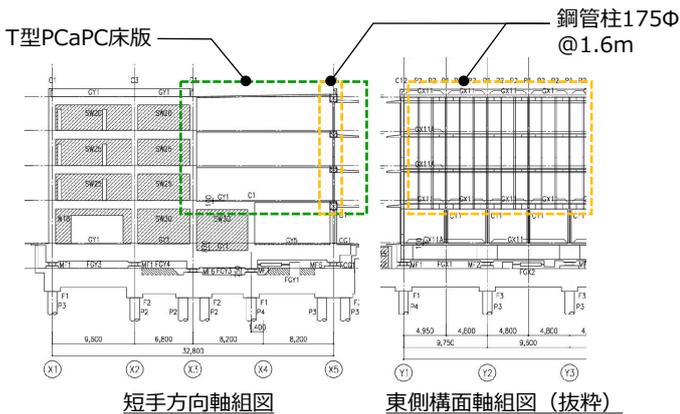
鋼管柱の建方 (撮影：日本設計)

T形PCaPC床版と鋼管柱による開放的な執務空間

本計画は神奈川県川崎市幸区役所の建替え計画である。執務エリアの東面は開放的な窓回りとし、窓を開けることで中央の光庭や階段室に向かう自然通風が促進される。一方でバックヤード側の東以外の外壁面は、熱負荷低減のために開口を抑制している。執務エリアはT型PCaPC床版により16.4mスパンの無柱空間とし、東面は1.6mピッチの175Φの鋼管柱で支持している。PCa床版を現仕仕上げとすることで、高さ規制がある中でも天井高さを確保し、開放的な執務空間を実現している。東面以外の外壁面に十分な耐力壁を確保することで、建物の捻じれ剛性を高め、建物の重心と剛心の偏心による地震時の変形の増大を抑制している。



3階床梁伏図



短手方向軸組図

東側構面軸組図 (抜粋)



羽田和樹 株式会社日本設計 構造設計群

担当者コメント

初めて基本設計から実施設計、工事監理まで一貫して携わった思い入れのあるプロジェクトです。一般的な耐震建物では、耐力壁をバランスよく配置することがセオリーですが、免震構造の優位性を生かし東側を全面開口とする建築計画を実現しました。

建築設計：株式会社日本設計
 構造設計：株式会社日本設計
 施工：東急・ハヤカワ・沼田・高橋共同企業体
 計画地：神奈川県川崎市